

東京電力福島第一原発事

故で全域が避難区域となっ

ている富岡は1日、町の

早期復興と住民の絆を再確

認する「復興への集い20

15」を広野町で開き、避

難先から集まって久しぶり

に顔を含ませた約70人

の富岡町民が、親睦を深め

ながら町の復興を誓い合っ

た。

東日本大震災と原発事故

後の2013（平成25）年

から、避難ではばらにな

ってしまった町民の交流の

場として広野町で開催。郡

山市やいわき市の仮設住宅

などから計16台のバスで会

場に町民が集まった。

式典では 宮本皓一富岡

富岡の絆 再確認

復興誓い広野で集い

町長や内堀雅雄知事があ

いざい、このうち宮本町

式典に先立ち、桜が満開

を迎えた夜の森地区などを

長は「古里の復興と町民の

心の復興を車の両輪とし

巡るツアーも行われ、バス

で、町の復興に取り組んで

現地を訪れた参加者が古

里のシンボルとなっていた

「いきたい」と参加者に呼び

掛けた。

美しい桜並木を眺めなが

ら、復興に向けた思いを強

くした。

YOSAKOI踊りチーム

やひよこご踊りの団体の

ツアーに参加した同町

の佐藤謙一さん(69)は「

桜の

ほか、帰還困難区域で立ち

入りができない夜の森地区

の桜並木の映像なども流さ

れた。会場では町婦人会が

「と早期復興を願ってい

た。

手作りの豚汁を振る舞った。



避難先などから集まり、笑顔で交流する町民ら
＝広野町中央体育館